

# ルールメイキング・ パートナーのご案内

交流会や勉強会などを通じて、ルールメイキングに関心がある全国の教員が繋がり、お互いの事例を学び合うことができます。また、事務局とのオンライン会議やチャット相談といった個別相談もできるので、実際の学校現場で役立つ情報を得ることができます。ルールメイキング・パートナーは参加無料です。

\ SUPPORT /

## 1 全国の学校の事例や取り組みを知る

みんなのルールメイキングでは全国400校以上の学校と連携し、ルールメイキングを進めています。近隣エリアの学校事例、生徒・教員との納得解のつくり方を知りたい等、ご要望に応じて実践事例をご紹介します。



事例を知る

\ SUPPORT /

## 2 学校ごとの個別相談・講師の派遣

校則見直しを進めるにあたって、カタリバに個別相談をすることができます。現状や課題をヒアリングし、プロジェクトの進め方を一緒に検討します。必要に応じて、校則問題に詳しい弁護士・ファシリテーターを、研修の際に学校へ派遣することもできます。



相談する

\ SUPPORT /

## 3 生徒・教員同士の交流

教員向け研修や、全国のルールメイキング実践校の交流会など、パートナーのみが参加できるイベントを年間通して開催しています。全国の教員や生徒が、学校の枠を超えて繋がり、学び合う機会を提供します。



繋がる

### パートナー登録方法

#### ● サポートを受けたい場合 (パートナー登録手続き)

公式サイトより、パートナーにお申込みください。学校・教員個人どちらでもお申込みが可能です。

※学校としての同意が取れておらず、教員個人で情報を集めているという場合も、ご参加いただくことが可能です。

#### ● 支援内容を詳しく知りたい場合

パートナー制度やルールメイキング事業について詳しく知りたい場合は、公式サイトをご確認ください。

カタリバに個別で相談ができる「ルールメイキング説明会・相談会」も定期開催しております。(開催日は公式サイトにてお知らせいたします)



パートナー登録はこちら  
(登録無料)



カタリバへのお問い合わせはこちら



学校向けご案内資料

# みんなの ルールメイキング

校則/ルールの見直しをはじめとした  
学校づくりへの参画を通じて  
対話的な問題解決力を育成する

認定NPO法人カタリバ



「みんなのルールメイキング」とは、生徒が中心となり、教員や関係者と対話しながら校則・ルールを見直ししていく取り組みです。生徒にとって身近な「校則」に着目し、「決められたとおりに従う」のではなく、立場や意見の違う人たちと、対話から納得解をつくるプロセスを大切にしています。そうした経験を通して、身の回りの課題に気づき、当事者意識をもって行動する力や、社会参画への意識を高めることを目指しています。

「校則見直し」を題材とした教育活動は近年注目を集めており、2022年12月に改訂された文部科学省の『生徒指

導提要』においても、校則の見直しに児童・生徒が参加することが望ましいことや、校則改定の取り組みが教育的意義を有することが新たに記載されました。こういった社会的背景も後押しし、全国の学校(小学校・中学校・義務教育学校・高等学校など)にルールメイキングの実践が広がっています。本事業は、2019年度から2022年度までより経済産業省「未来の教室」実証事業に採択され、2024年度は日本財団の助成を受けて運営しています。



Supported by 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

全国でルールメイキングに取り組む学校が増えています。

### ルールメイキング・パートナー 先進事例校一覧



ルールメイキング  
連携校数

合計 **400** 校  
※2024年6月1日時点



# ルールメイキングによる教育効果

# ルールメイキング活動のステップ

## 社会に意欲を持ってない日本の若者

日本財団 18歳意識調査「国や社会に対する意識6カ国比較」より抜粋

	自分は責任がある社会の一員だと思ふ	自分の行動で国や社会を変えられると思ふ	国や社会に役立つことをしたいと思ふ	政治や選挙は自分の生活に影響すると思ふ	政治や選挙、社会問題について関心がある	政治や選挙、社会問題について自分の考えを持っている
日本	48.4	26.9	61.7	60.9	50.0	42.1
アメリカ	77.1	58.5	73.0	64.0	51.7	68.5
中国	77.1	70.9	82.1	70.1	66.1	73.3
韓国	65.7	61.5	75.2	69.5	61.3	61.1

### 当事者意識

全員が当事者である「校則」を題材にすることで、校則に紐づく様々な社会課題を自分事化する機会を作ります。

### 自己効力感

自分の身の回りのルールを、自ら作る経験を通じて、「社会は変えられる」という自己効力感が芽生えます。

### 課題発見力

校則見直しを通じ、他者が抱える問題に気付いたり、“当たり前”に思っていた状況への問題意識を持つことができます。

## ルールメイキングに参加した生徒の声

※2021年度3月実施 実践校生徒インタビューより



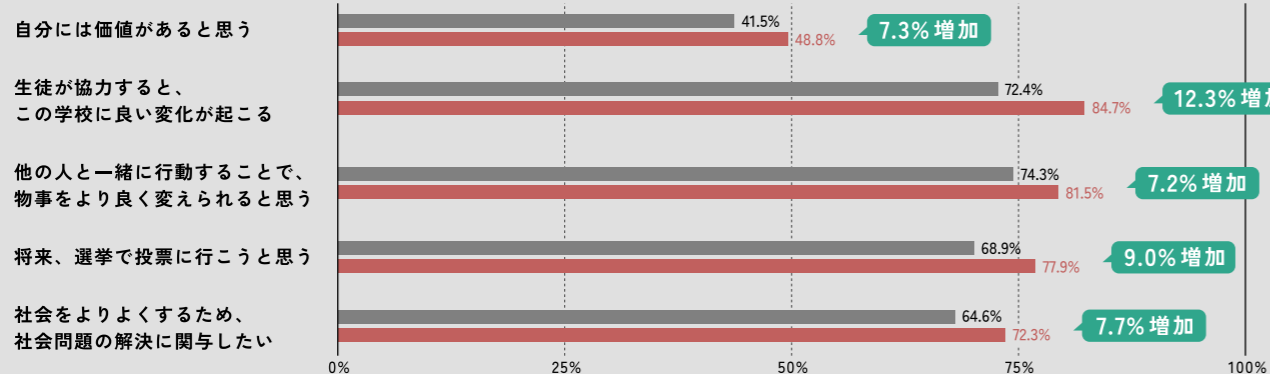
自分の意見を通したい性格だけれど、色んな人から意見を聞いたから、自分が知ってる範囲以上の知識を得られました。そういう考えもあるんだなと、心の許容範囲が広がったと思うことが増えました。〈他者への寛容さ〉



自分達で学校をより良い方向へ変えていく事ができるんだという感じました。もしルールメイキングに自分が参加していなかったら、自分達で動けば少しでも学校は変えられる!という実感を持ってなかったと思う。〈自己効力感の向上〉

## ルールメイキングに参加した生徒への意識調査

ルールメイキングに参加した生徒には、自己肯定感や自己効力感、社会参加意識、当事者意識が上がる調査結果が見られました。「みんなのルールメイキング」では、ルールメイキングという新しい学びを全国の学校に届けることを通じて、日本社会が抱える課題解決に貢献します。



出典：安田女子中高（広島県）ルールメイキング事前・事後アンケート 数値：4件法による肯定的回答（そう思う／まあそう思う）の割合 事前調査：2020年5月 事後調査：2021年6月

## Step1 課題設定



対話やルールのマインドセットを行ったうえで、見直したい校則・ルールを決めます。ルールメイキングに取り組む最上位目的の設定なども行います。

### Point

異なる意見を排除するのではなく、多様な他者の意見に耳を傾けながら、学校内外の複数の立場を取り入れて納得解をつくっていきます

## Step2 情報収集



多様な関係者からの声を聞き、情報を集めながら、具体的な校則・ルールの見直し案をつくります。

### Point

自分の意見にも価値があると思える経験を通して、もっと社会に関わりたいと思う意識を育てます

## Step3 提案・見直し



新しいルールを提案し、全校へ周知します。変更されたルールに問題点はないか振り返り、次の見直しにつなげていきます。

## ルールメイキングに参加した教員の声

※実践校教員インタビューより



校則見直しの必要性を感じつつも、どこから進めればよいのか分からず、外部のサポートを受けたいと思い、参加しました。ルールメイキングに取り組んだことで、生徒たちが以前よりも自信をつけて、主体的に動けるようになったほか、教員の考え方や学校全体の雰囲気も大きく変わりました。生徒に対して、説明のつかない指導をする必要がなくなり、生徒や保護者との信頼関係も良好になりました。

## ルールメイキングを通じて、生徒の声を取り入れながら見直しが進んだ校則（一例）

### 髪型

- ・ツーブロック規定
- ・前髪の長さ規定
- ・結び方の規定
- ・整髪料の使用許可 等

### 服装

- ・制服・標準服の見直し
- ・衣替え・着用期間の指定
- ・学校指定品の種類
- ・体操服登校の許可 等

### 学校生活

- ・放課後・休日の立ち寄り規定
- ・スマホの持ち込み規定
- ・お菓子の持ち込み規定
- ・アルバイト規定 等

みんなのルールメイキングについて詳しく知りたい方へ

公式WEBサイト



公式X (旧Twitter)



公式Facebook



公式YouTube

